

事 務 連 絡

平成31年4月3日

公益社団法人 日本バス協会 常務理事 殿

国土交通省総合政策局 公共交通政策部  
交通計画課 地域振興室長 河村英知

「標準的なバス情報フォーマット」を活用したバス情報の拡充について

平素より国土交通行政にご理解と、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

バスの運行は道路混雑状況により日常的に遅延が発生することが多いため、バス利用者にとってバスロケーションによる動的情報は極めて重要な情報ですが、現状の情報提供はバス事業者が作成しているホームページや自社アプリケーションに限定されていることが多く、複数事業者が運行している路線などでは利用者にとって使いにくい状況です。

このことから、「GTFS リアルタイム」を動的データの標準的なフォーマットとして定め、一昨年3月に定めた「標準的なバス情報フォーマット」に追加しました。これにより、動的情報についても経路検索事業者をはじめ、多様な主体が活用しやすくなります。また、既存の静的情報に係るフォーマットについても、約2年間の運用を踏まえ一部改定を行いました。

さらに、バス事業者等の関係者にとってデータ整備やデータ利活用がより身近なものとなるよう各種手引きやガイドラインを作成しましたので、貴協会におかれましても周知方よろしくお願い致します。

※フォーマットに関する解説書は、下記のウェブサイトからダウンロードできます。

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei\\_transport\\_tk\\_000067.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000067.html)

- データの整備の意義と効果（対象：計画立案段階）
- データの整備方法と提供方法（対象：計画段階から実行段階）
- 技術資料（対象：技術者向け）

担当：国土交通省総合政策局 交通計画課 菅原 sugawara-t2jx@mlit.go.jp (03-5253-8274)